

東日本大震災とこれからの子どものケア ～震災などにより虐待・トラウマを受けた子のケア～

日程

仙台会場

12月19日(金)

仙台シルバーセンター 交流ホール
(仙台市青葉区花京院1丁目3-2)

石巻会場

12月16日(火)

石巻合同庁舎 大会議室
(石巻市東中里1丁目4-32)

気仙沼会場

12月17日(水)

気仙沼保健福祉事務所 大会議室
(気仙沼市東新城3丁目3-3)

【各会場共通(通訳付)】

開始 10時00分 終了 15時30分

講師

江津 秀恵 氏

Children's Hospital Boston
(仮)『トラウマを抱えた子ども
の理解とケア』

ボストン小児病院にソーシャル
ワーカーとして勤務する傍らアメリ
カや世界の災害現場において
子どものこころのケア活動を行
なっておられます。アメリカ赤十
字の災害ボランティアとしての訓
練と実践を積み、東日本大震災
の際には来日して気仙沼地区に
おいてこころのケアメンバーと
して御尽力下さいました。当日は通
訳もして下さいます。

Allison Scobie-Carroll 氏

Children's Hospital Boston
(仮)『災害地域における児童虐待への
取り組み』

SWとして多彩な臨床経験を積み、
1995年にSalem State CollegeでMaster
of Social Work(MSW)を取得。2001年
にはマサチューセッツ州立大学でMBA
取得。2005年からはChild Protection
Team(CPT)のディレクターを務め、9年
間児童虐待の専門家として御活躍な
さいました。2008年からはBoston College
の大学院で講師をお務めになっていま
す。また、法廷や州議会で児童虐待に
ついて証言や時には擁護活動に御尽
力し、国内のみならず海外からも相談
を受けておられます。

Donna Smith Sharff 氏

Children's Room
(仮)『Loss&Grief,Programs in
Children's Room』

Children's RoomのExecutive Director。
Children's Roomはグリーフケアを行
っており、悲嘆に暮れる子どもや10代
の若者、その家族がより良く生きるた
めの手助けを目的とした通所施設です。病
院のホスピスの一環として、全米的にも
定評のあるDougycenter(悲嘆を経験し
ている子どものピアサポートグループを
提供するアメリカで最初の施設)で訓練
された医療専門家が集まり、1993年2月
に設立されました。電話相談では、悲嘆を
経験している子どもや家族に関わって
いる両親や教師、カウンセラーへの情報提
供も行っております。

主催 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立精神医療センター

東日本大震災みやぎ子ども支援センター

共催 宮城県子ども総合センター

◆申込方法

参加希望の方は、平成26年12月1日(月)までに所属毎にまとめ、別紙受講申し込み書に必要事項を御
記入の上、下記までFAXでお申し込み下さい。受付は先着順とし、申込期限内であっても、参加希望者数
が募集定員を上回った時点で募集を締め切ります。締切後に申し込まれた場合のみ御連絡致します。

【申込先】東日本大震災みやぎ子ども支援センター

名取市美田園二丁目1-4 まなウェルみやぎ

電話 022-784-3597 FAX022-784-3598

※各会場共に駐車場がございません。公共交通機関をご利用下さい。